

西伊豆健育会病院 岡部 純也(健康管理室 室長)

功 績 日々の営業努力により、地域の人口減少という逆境を跳ね返し予算を達成。脳ドックおよび人間ドックの助成金が活用できるようにしたことで、地域住民の病気の早期発見、早期治療に貢献した功績。

推 薦 者 小柳 拓也

推 薦 理 由 岡部は健康管理室室長として「地元であるこの地域の方々の健康を守る」という強い使命感のもと、飛び込みの営業や地域イベントへの参加で検診のアピールをし、受診者を増やしています。人口減少という逆風に負けることなく西伊豆健育会病院を強くアピールし、結果を出し続ける岡部を理事長賞に推薦致します。

内 容

健康管理室 室長の岡部純也は入職19年目の職員です。リハビリテーション科の助手として入職し、平成16年から健康管理室に移動、平成25年から室長となり検診部門の纏め役として活躍してくれています。

当地域および近隣地域は人口減少が著しく、企業の存続が厳しい状況にあります。

1件、また1件とホテルや会社が姿を消していく中、健診受診者数も減少していきました。

岡部は院内外の受診者数を確保するために、日々の業務に加えて営業にも力を注いでいます。健診の範囲は西伊豆町、松崎町だけでなく、近隣の下田市、伊豆市、伊東市にまで及んでいます。岡部は伊豆半島東海岸のホテルに飛び込みで出向き新規獲得に励んでいます。

年間で一番大きい伊東市の健診では、5年前の受診者数は99事業所：487名でしたが、営業努力の甲斐もあり、今年度は104事業所：554名と事業所数と人数は増加しています。更に昨年、協会けんぽの健診を、交渉を重ねた末に獲得し、今年度4月から10月までの新規獲得者数累計：34人/497,972円と院内健診増収に繋がっています。

当院では、本年8月にMRIの入れ替えを行いました。4月から脳神経外科専門医が常勤医として着任し、MRIの入れ替えに併せて脳ドックを再開することとしました。岡部は脳ドック再開にあたり、ポスターとパンフレットを作成し、配布するだけでなく行政と交渉を重ね、松崎町では助成金が活用できることになりました。今回、伊豆市において脳ドック、人間ドックに対する助成が可能となったこと、西伊豆町も来年度から全額助成に向けての動きがあることも岡部の努力の賜物です。健診の大切さを啓蒙しただけでは、なかなか受診に結びつきません。受診者の負担を軽くすることで、気軽に検査を受けることができるようになり、地域住民の病気の早期発見、早期治療に貢献しています。また、岡部は、とにかく健診を受けて貰う為には「病院アピール」が重要と、休日を返上し地域のイベントにも参加しています。